

オミナエシ

(2006年8月25日 撮影)

全国的に急速に数が減ってしまっている植物です。宮城県では準絶滅危惧種とされていますが、いずみがだけ、ひかくてきおお。 みりもでは比較的多く見ることができます。

「秋の七草」と呼ばれるものの1つです。

名前の由来は、昔、女性が食べていた粟のごはんのことを「おみな飯」と言いましたが、小さく黄色い花がこのおみな飯に似ているというところから名付けられたという説や、「花が、美しい女性(= おみな)さえも圧倒するような美しさ」という意味



の「おみなEし」が ^{へんか} 変化したという説 などがあります。

花の部分のアップ